



平成7年度及び平成17年度と同一調査地域における調査結果の比較

注1) 平成7年度、平成17年度及び平成18年度の調査結果について、各地点の石棉濃度を地域ごとにまとめて、高い順に左から並べています。

注2) バックグラウンド地域とは地域内の固定発生源の影響を受けない地点を意味しています。